

有事の際の災害対策本部のあり方は

問 有事の際の災害対策本部のあり方は。

産業課長 野々村地区3戸で、6条列のコンバインを整備、ロールベアラーと併用し、高品質の稲ワラを生産し、秋山牧場に供給する事業費補助金で、県1/3、町1/6、合わせて1/2の799万8,000円である。

問 農林水産業創意工夫プロジェクト支援事業補助金の補正内容は。

企画課長 1人12万円の支給、3社雇用5人60万円の増額補正である。

問 産業振興条例雇用奨励補助金の補正内容は。

39人、②施設利用 14人が167人、③介護報酬1.0%が0.2%増となり1.2%、④基金が0になり新年度予算で県から借り入れる。⑤被保険者20%となり1%増えることが要因である。

◆平成23年度一般会計補正予算



非常用発電機・オイルタンク

◆平成23年度まむる川温泉梅里苑事業特別会計補正予算

問 今後の梅里苑の運営をどうするのか。

町長 梅里苑を閉じる考えはない。リニューアルやバイオマスボイラーを採用し適正な管理運営をしていく。

総務課長 庁舎のコンピュータの被害に備えて、※自治体クラウドを採用。非常用発電機、小型発電機20基、防災放送システムバックアップ、小型サーバーを設置し混乱を防ぎ機能を充実させていく。

※専用ひかり回線を利用して、庁舎外の耐震施設に行政データを保存し利用するシステム。

◆平成23年度真室川町介護保険特別会計補正予算

問 繰入金として、給付金・臨時特例給付基金がある内容は。

福祉課長 介護給付基金は保険料の調整分、臨時特例給付基金は4期に限り介護報酬が少し上がったため、国から交付され積立したものである。

3月定例会

3月定例会は3月8日から14日までの7日間開かれました。

条例・補正予算・平成24年度当初予算など、25議案を慎重に審議し、それぞれ原案の通り可決・承認されました。

一般会計 2億600万円を補正 各種基金の整理 農業支援など

◆専決処分の報告について

歳入歳出予算の総額52億5,390万円に、歳入歳出に2,300万円を追加し、52億7,690万円と定める。(追加は除雪費)

合する事によって使い勝手が悪くなり、例えばスポーツ振興基金について町で1人1スポーツを奨励しており、健康増進・競技力の向上に役立つもので、統合すればスポーツに関して使えないのではないか。

総務課長 スポーツ振興基金500万円は47国体に向けた特定財源であった。一般財源でまかなったために残ったもので、目的を達成して近年の果実利子の低減で果実運用に至っていない。

◆地域の自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について

◆真室川町各種基金の整理に関する条例の制定について

問 目的に沿った事業に執行するのが基金の趣旨と思う。統一



第90回全日本スキー選手権真室川大会

◆真室川町農業体質強化基金整備促進事業費分担金徴収条例の設定について

問 後継者育成として貸付基金創設の考えは。

総務課長 基金を運用する場合、議決を求めなければならず後継者育成費として貸付した場合、返済が必要になるため慎重な検討が必要となる。

問 補助事業の内容は。

産業課長 農地の区画が狭い、畦はん除去、用排水路の改修等きめ細かい国の施策で町に相談されている大石川土側溝の改修、川ノ内下田表130m区間用排水路の改修である。



解体予定の滝ノ上保育所

◆真室川町保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について

問 「器の会」で滝ノ上保育所を使っていたが、廃止にあたり、今後「器の会」の活動拠点・支援をどうするか。

◆真室川町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

問 保険料値上げの根拠は。

福祉課長 5つの要素があり、①要介護認定 平成23年10月506人が26年度5

議長室より

今年はいつもと違う冬の風物詩だった。灰色の空からしんと降り積もる雪。人の姿は全く見当たらない。寂しさを感じているとき、我が家から見える両隣三軒の煙突の煙が実に良い。老夫婦の健在ぶりと薪ストーブを囲んでいる人の温もりがたたり、ほつとする瞬間であり、安らぎを与えてくれる。雪の晴れ間を見て、巢穴から鳥が飛び立つように一斉に外に出て除雪を始める。そこでもいつもながら愚痴を言い合ったのに、今年は違った。やはり誰もが東北の被災地を思っていることだろう。「こっちはまだ良いほうだ」「自分の家に住めるだけで幸せだ」そんな会話から元気をもらう。何げない毎日がどんなに幸せなことか気付かされた一年だった。

さあー新年度スタートだ。誰にでも不平・不満は山ほどあるが、前へ進むしかない。今年もまた二つの小学校から灯りが消えてしまった。だが、新たな「真室川あさひ小学校」の発展を祈り、町民のみならず子供たちに負けず、たくさんの朝陽を浴び一日を始めよう。昨日より今日、今日より明日、健康に勝るものなし。

議長 佐藤 忠吉